



うつのみやが目指す

まちづくりと
公共交通
ネットワーク



このパンフレットは、うつのみやが目指している「まちづくり」と「公共交通ネットワーク」について、市民の皆様に関心を持っていただくことを目的に作成しました。

誰もが快適に移動することができる暮らしやすいまちづくりを、皆様と一緒に進めていきたいと考えておりますので、ぜひ、ご覧ください。

目次

①・② うつのみやが目指すまちの姿「ネットワーク型コンパクトシティ」

③・④ つなげるつながるネットワーク化の促進

⑤・⑥ 誰もが利用できる環境にやさしい公共交通ネットワークが実現すると

⑦ 将来に向けみんなで力を合わせて取り組んでいきましょう

⑦ 公共交通に関する市民説明の進め方

うつのみやが目指すまちの姿 「ネットワーク型コンパクトシティ」

～100年先も誇れるまちを、みんなで～

これまでには — 時代とともにまちの姿を変え、宇都宮市は着実に発展してきました

- 戦後、人口は右肩上がりが増加 ●モータリゼーションや高度経済成長を背景に人々の暮らしは豊かに
- 合併により市域を広げるとともに、工業団地の造成や東北新幹線の開通などが社会経済の発展に寄与

しかし今 — 時代は大きな転換期にあります

人口減少・高齢社会の進行

- 日本の人口は既に減少時代へ突入 50年後には現在の3分の2と予測【※1】
- 世界に類を見ない速さで高齢化が進行 現在の高齢者(65歳以上)の割合4人に1人が、50年後には2.5人に1人に【※2】

地球規模での環境問題

- 猛暑や豪雨など、命をも脅かす異常気象や自然災害が世界中で多発
- 日本は温室効果ガス排出を2020年までに、1990年に比べ25%削減することを目標に【※3】

国内経済の停滞

- 今後、人口減少による経済活力の減退が懸念
- 企業倒産、就職難の負の連鎖
- 税収が大きく減少する一方、医療や介護などの社会保障費は増加の一途

これからは — 宇都宮市においても社会的な課題への対応が求められています

本市でも人口減少が目の前に

- 本市では2015年をピークに人口が減り始める見込み【※4】
- 2022年には市民の4人に1人が高齢者になる見込みであり、若い世代が支えることに【※5】

全国でも有数のクルマ社会

- 本市の2003年時点のCO₂排出量は1990年に比べ24.5%増加【※6】 今後の削減が大きな課題
- 本市の1世帯当たりのガソリン消費量は、全国の県庁所在地の中でもトップクラス【※7】

まちの活力の低下

- ハローワーク宇都宮管内の有効求人倍率(求職者1人当たりの求人件数)は、現在0.69にまで低下【※8】
- まちの顔である中心市街地の通行量は10年前に比べ半分に、活性化が急務【※9】

そして私たちは… — “未来の選択” 私たちのまちを こうしたいと考えています

身近な地域で支え合うまち

- 日常生活に必要な機能が、身近な地域に備わり、子どもから高齢者まで、歩いて暮らせるまち
- 地域の人々がつながって、助け合いながら、安心して、健康に暮らせるまち

環境にやさしいまち

- 公共交通ネットワークが整備され、移動にかかる環境への負荷を低く抑えられるまち
- 都市と自然が共存する緑豊かなまち

元気で成長するまち

- ひとや企業から選ばれ、それらがいきいきと活動するまち
- これまでに整備してきた公共的な施設を効果的・効率的に活用し、ムダなく運営できるまち

これらを実現していくまちの姿が、まちの機能や人口が拠点に集積し(コンパクト)、拠点が連携する(ネットワーク)

「ネットワーク型コンパクトシティ」です。

30年、50年という長い時間をかけながら
3つの方針で、ネットワーク型コンパクトシティのまちづくりに取り組んでいきます。

- 1 市街地の拡大を抑えコンパクトなまちをつくるメリハリのある土地利用 『土地利用の適正化』
- 2 人や魅力が集まり にぎわう 個性ある拠点づくり 『拠点化の促進』
- 3 交通ネットワークで つなげるつながる 『ネットワーク化の促進』

具体的には、どのようなまちになるのでしょうか?

どういう拠点になるの?

都市拠点

高度なまちの機能や魅力が集積した拠点

- 二荒山神社やJR宇都宮駅、東武宇都宮駅、オリオン通りなどが集まっている、宇都宮の顔となる拠点です。
- 百貨店や総合病院、オフィス、文化芸術やアミューズメントの施設など、高度な機能が集まっています。
- 新幹線や在来線により首都圏や東北へ、またバスなどにより市内各地へとアクセスできる高度な交通結節機能を備えています。

地域拠点

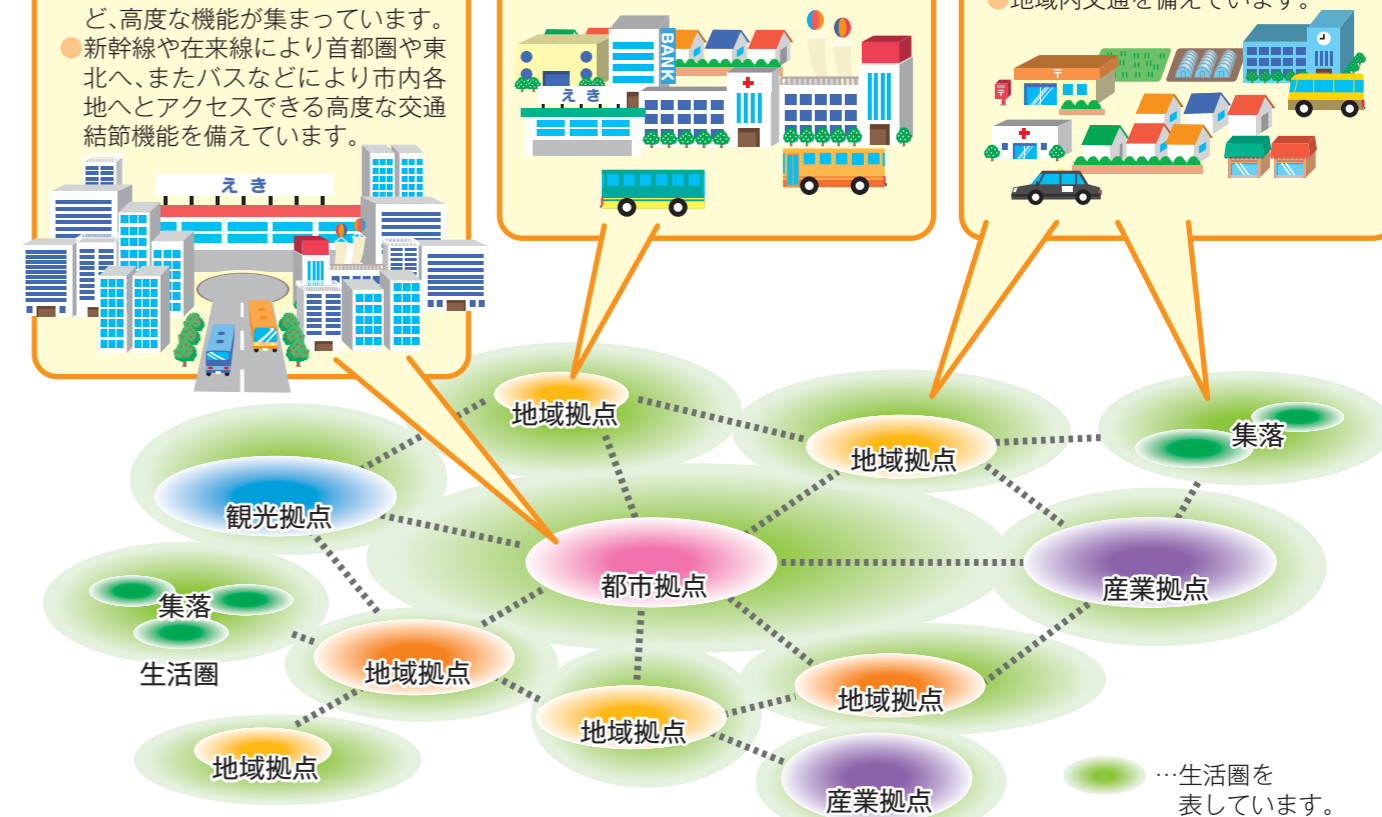
特色あるまちの機能が充実した拠点

- 周辺地域の核となる拠点です。
- 大型店舗や病院、金融機関などさまざまなニーズに対応する機能を備えています。
- バスや鉄道といった交通結節機能を備えています。

生活圏

それぞれの周辺環境に応じた暮らしやすさが充実した拠点

- 元気な地域コミュニティで、日常生活を送るエリアです。
- 商店や郵便局、小・中学校、地域福祉の施設などを備えています。
- 地域内交通を備えています。



拠点がつながるとどうなるの?

それぞれの拠点がまちの機能を補い合い高め合う

都市拠点、地域拠点、産業拠点など、それぞれの拠点がつながり、お互いのまちの機能を補い合うとともに、相乗効果で都市全体の魅力が高まります。

市域内や拠点間を便利に移動

交通ネットワークできめ細かくつながり、誰もが目的に応じた交通手段で、快適に移動することができるようになります。

さまざまな地域での暮らしが、それぞれに快適になる生活重視のまちになります。

次のページで、さまざまな拠点がつながる姿や「公共交通ネットワーク」について詳しく見てみましょう。

【※1】、【※2】:国立社会保険・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」 【※3】:「コペンハーゲン」での第15回気候変動枠組条約締約国会議の合意を受けて2010年1月26日に国連事務局長に提出した日本の目標 【※4】、【※5】:宇都宮市「第5次宇都宮市総合計画(2008年3月)」による推計 【※6】:宇都宮市「宇都宮市地球温暖化対策地域推進計画(2007年2月)」による調査

【※7】:総務省統計局「家計調査家計収支編」全国の県庁所在地の中で、本市は2009年は第7位、2008年は第1位の消費量。 【※8】:ハローワーク宇都宮管内2010年9月時点の有効求人倍率。2009年1月に0.82となって以降、1未満で低迷。同7月の0.35が最低。 【※9】:宇都宮市、宇都宮商工会議所「商店街通行量・来街者実態調査(2010年度)」

つなげるつながるネットワーク化の促進 ～誰もが利用できる環境にやさしい公共交通ネットワークを目指して～

公共交通は、子どもから高齢者までみんなの生活を支える大切な移動手段です。宇都宮市は、既存の鉄道やバス路線の充実・強化、地域の特性に応じた地域内交通の運行など、公共交通を

便利にする取り組みを積極的に実施・支援することにより、誰もが安全、安心、快適に利用できる環境にやさしい公共交通ネットワークの実現を目指しています。

みんなが便利に利用できるように、
いろんな公共交通を整備したり、つないだりするんだね。

このほかにも
「トランジットセンター※」
「鉄道駅のインフォメーションの改善」
「バス運行情報の提供」
なども考えています。

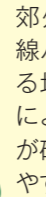
公共交通がどんどん利用しやすくなれば、クルマが運転できなくても便利に移動ができて、将来的にも安心して暮らせるね。

郊外部での移動が便利に!

●地域内交通の運行



清原さきかけ号 板戸のぞみ号



郊外の拠点では、路線バスなどにつながる地域内交通の運行により、日常生活の足が確保され、移動がしやすくなります。

都市拠点や周辺市街地での移動が便利に!

●循環バスの充実



きぶな

周辺市街地や都市拠点では、路線バスなどにつながるバス(ミニバス)の充実により、円滑に移動できるようになります。

各拠点間の移動が便利に!

●バス路線の充実



ノンステップバス

各拠点間では、バス路線の新設や運行本数の増便、乗降しやすいノンステップバスの導入などにより、路線バスが利用しやすくなります。

公共交通全体のつながりが充実!

●新交通システムの整備(例)



LRT(ライト・レール・トランジット)
フランス ストラスブール



BRT(バス・ラピッド・トランジット)連節バス
ツインライナー(神奈川中央交通)

南北の鉄道に対し、東西に鉄道や路線バスとつながる新たな交通システム(基幹公共交通)を導入することで、公共交通全体のつながりが充実し、市域内を効率よく移動することができるようになります。

拡大してみると...

地域内交通



地域内交通は、地域のみんなが協力して運行している公共交通なんだよ。

現在は、清原地区で運行しているね。今後は、他の地区にも地域内交通が広がっていくんだね。

公共交通の利用環境が向上!

一枚のカードでいろんな公共交通が利用できると乗り換えが便利になるね。

●ICカードの導入



ICカード(山梨交通)

●バス停の利用環境整備



ハイクレードバス停(横浜市)

ICカードの導入などにより、公共交通をスムーズに乗り換えることができます。また、バス停に上屋やベンチを設置することにより、快適にバスを待てるようになります。

公共交通を多くの人に利用してもらうには、自転車やクルマとのつながりも大切だね!

●駅やバス停付近への駐輪場や駐車場の整備



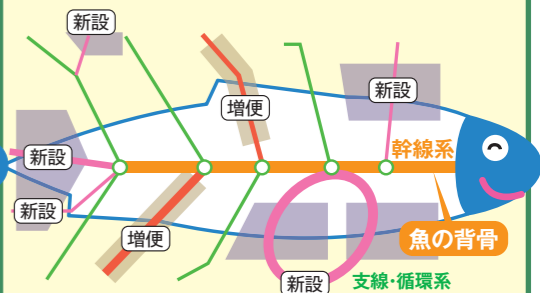
駐輪場 サイクル&ライド



パーク&ライド

駅やバス停付近に駐輪場や駐車場を整備することにより、自転車やクルマから公共交通への乗り換えがしやすくなります。

公共交通がつながるイメージは「魚の骨ネットワーク」



公共交通空白地域... 公共交通不便地域...
鉄道駅から半径1,500m、バス停から半径250m以上離れた地域 昼間の運行本数が2本/時未満の公共交通が不便な地域

鉄道や主要なバス路線などの幹線系(背骨)と循環バスや地域内交通などの支線系(小骨)が効率的につながることによって、公共交通空白・不便地域が解消され、広い地域で公共交通が便利に利用できるようになります。

地域に応じた公共交通の役割分担が大切なんだね。

※トランジットセンター: 鉄道やバス、タクシーなど、他の公共交通に乗り換えるための交通結節点のこと

誰もが利用できる 環境にやさしい 公共交通ネットワークが実現すると

公共交通が便利になったらみんなどんなふう利用するのかな。

それでは、便利になった公共交通が日常生活の中で利用されている将来の様子を見てみましょう。

現在

将来

地域内交通が運行されると

クルマの運転が不安になったAさん、通院や買い物などは、同じ市内に住む娘さんに送り迎えを頼んでいます。

地域内交通が運行されるようになり、自分で自由に病院や買い物などに行けるようになりました。

病院に
乗せて行って
くれないかしら。

運転ができなくても
自由に移動できるから
外出する機会が
増えました。

路線バスや循環バスが充実すると

郊外に住んでいるBさん、クルマを使って都市拠点で開催しているイベントに行っています。

路線バスや循環バスの運行が充実したことにより、都市拠点には、公共交通を利用して行くようになりました。

駐車場を探すのが
大変だから
行くのやめようかな。

都市拠点内を
循環バスで自由に移動
できるから、行く楽しみと
回数が増えました。

バス路線が新設されると

郊外に住んでいる高校生のCさんは、都市拠点にある学校に自転車通っています。

自宅近くの幹線道路にバス路線が新設されたことで、天気などが心配なときは、バスで通学するようになりました。

雨や雪など、天気が
悪い日や帰りが
遅くなる日は、自転車
で通うのが不安だな。

天気が悪い日や帰りが
遅くなる日でも安心して
通えるから、家族の
心配も減りました。

新交通システムが整備されると

郊外に住んでいるDさん、休日は、プロスポーツの観戦にクルマを使って出かけています。

鉄道や路線バスとつながる新交通システムが導入されたことで、便利に行けるようになりプロスポーツを観戦する回数が増えました。

クルマはどこに
止めたらいいのかな。
渋滞も心配だな。

公共交通は、
駐車場や渋滞の
心配がなく
とても快適です。

ICカードが導入されると

周辺市街地に住んでいるEさん、路線バスと鉄道を利用して東京方面へ通勤しています。路線バスはバスカード、鉄道はICカードで乗降しています。

路線バスと鉄道が共通で利用できるICカードが導入されたことにより、1枚のカードでスムーズに乗降できるようになりました。

もっと
スムーズな
乗降が
できたらな...

バスカード

ICカード

一枚のカードで
利用できるよ
うになった
ので
とても便利
です。

路線バスの利用環境が向上すると

郊外に住んでいるFさん、クルマで自宅から都市拠点に通勤しています。

郊外のバス停付近に駐車場が整備されたことで、クルマと路線バスを利用した通勤にかえりました。

交通事故の心配や
渋滞でのイライラが
減り、快適に
通勤しています。

公共交通のつながりが充実すると

郊外に住んでいるGさん、都市拠点で開催されるコンサートにクルマを使って行っています。

鉄道や路線バスなど公共交通のつながりが充実したことにより、公共交通を利用して行くこともできるようになりました。

コンサートを見た
あと、たまには
美味しいカクテルも
飲みたいな。

公共交通なら
カクテルも飲めるから、
出かける楽しみが
増えました。

あなたのご意見をお寄せください

このパンフレットをご覧いただき、関心を持ったことや今後、知りたいと思ったことについて、ご意見をお寄せください。いただいたご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。なお、一部を後日、広報紙やホームページなどで紹介させていただきます。

質問などへの回答は、直接本人あてには返信しませんのでご了承ください。

右のはがき(切手不要)を切り取り、3月31日(木)までにポストに投函してください。ほかのはがきや手紙、FAX、Eメールでも受け付けます。

〈送付先・問い合わせ先〉

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5
市役所 総合政策部 交通政策課
TEL 028(632)2304・2305
FAX 028(632)5422
Eメール: u2017@city.utsunomiya.tochigi.jp

私は、まちづくりと公共交通ネットワークの ここに関心を持ちました。

●「ネットワーク型コンパクトシティ」のどんなところに関心を持ちましたか。

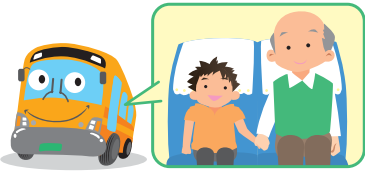
●「公共交通ネットワーク」のどんなところに関心を持ちましたか。

●今後「公共交通ネットワーク」のどんなことが知りたいですか。

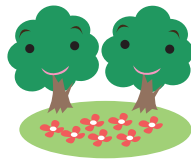
将来に向けみんなで力を合わせて取り組んでいきましょう



外出機会の増加



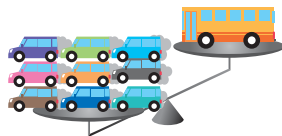
環境負荷の低減



地域や中心市街地の活性化



公共交通が便利になると暮らしやすくなるし、利用する人が増えるというんないいことがあるんだね。クルマだけじゃなくて公共交通も利用しなくちゃね。



いいことを増やすには、クルマと公共交通のバランスが大切なんだね。



みんなの役割

行政

公共交通の充実のために効果的な支援を行います！

市民

時にはクルマを休ませて公共交通で出かけます！

交通事業者

公共交通をもっと利用しやすくします！



公共交通に関する市民説明の進め方



ステップ1
うつのみやが目指すまちづくりと公共交通ネットワーク

今回のパンフレット配布はステップ1です。
ステップ1で寄せられた意見などを参考にステップ2に入ります。

ステップ2
公共交通ネットワークの構築と東西基幹公共交通

今後は、より多くのご意見をいただくためのオープンハウス※を開催するなど、公共交通に関する市民説明を進めていきます。

※オープンハウス: 展示内容を自由に見学したり、気軽に意見交換できる場

料金受取人払郵便

宇都宮支店
承認

3109

差出有効期間
平成24年12月
31日まで

【切手不要】

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部交通政策課 行



| | | |
|----|----|----|
| 氏名 | 住所 | |
| 年齢 | 歳 | 職業 |

差し支えがなければ記入してください。広報紙などで意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

みんなで
取り組んで
暮らしやすいまちに
していこう！

